

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第28号 平成26年10月18日

初回の柵川柵越えがゲームを優位に進めた！

19ヶ月ぶりの達脇完封勝利！

	1	2	3	4	5	6	7	R
C	0	0	0	0	0	0	0	0
G	3	0	1	0	0	0	×	4



10/18(土) ガス橋グラウンドに出向き、千種倶楽部とのSCLRT 2回戦を行った。2つの公式戦が今期の幕を閉じた関係から、今日のゲームは何か何でも勝利し、次につなげたいという思いで、戦った。そんな中、達脇が先発のマウンドに上がりプレイボールとなった。気になる立ち上がりは、打たせて取るピッチングで初回、無難な立ち上がりを見せた。その裏の攻撃、先頭の祐介が三塁線の2ベースで出塁する。次打者は倒れ二死となったが、4番に入った政司が叩きつけるバッティング、これが大きく弾み内野安打を記録、そして5番柵川が打席に入る。すっかり「あんぱんまん」キャラでチームのマスコットに上り詰めた彼だが、打席でも非凡な才能を見せる。2-1から4球目を振り抜くと打球は文句なしのスリーラン、これで欲しかった先制点を挙げる事が出来た。その後達脇も好投を見せ、ゲームは膠着状態に入る。しかし、3回の攻撃、この回先頭の哲也が2ベースで出塁、続く政司も安打で続く、そして1打席目にスリーランを記録した柵川が打席に入り、ベンチは彼のバットに期待を寄せたが、強振したスイングから放たれたボールは、ハナタした三邪飛で一死、そして、6番深沢が打席に。2球目を外野に運んだがやや浅い飛球、これを哲也の好走塁が中押し1点に繋げた。そして、ここから達脇に少しずつ病気が始まる。4回に連続四球、5回にも連続四球で自身でピンチを作ったが、最後は抑える微妙な内容。しかし、6回には、三者で斬り7回のマウンドに。先頭を四球で出塁させると、次打者には内野安打を記録され、無死一・二塁と今日最大のピンチとなった。しかし、次打者を三ゴロ、そして遊ゴロ、最後は空三振に斬り、見事19ヶ月ぶりの完封勝利を記録した。

今日を振り返ると、何と言っても、初回に先制出来た事、そして序盤まで安心した投球を見せた達脇のピッチングが勝利を読んだ。ただ、先にも書いたが、後半の与四球の多さは、往々にして大量失点に繋がるので、この辺は要注意だ。更には、まだ得点が出来たシーンがあったが、残塁を記録してしまったので、この辺もまだ課題かな？と感じる。しかし、負けないぞ！というメンバーの気持ちが、自然に互いに盛り上げる方向に向かっているのは、収穫だと思う。今期も徐々に残り少なくなっていくが、このチームの雰囲気を持ち、このRT優勝目指して頑張ろう！ それにしても柵は当たると飛ぶな――――